

監査報告書

公益財団法人 経営者顕彰財団
理事長 久保田 勇夫 殿

2020年4月20日

公益財団法人 経営者顕彰財団

監事 友池 精孝 

監事 田坂 正則 

私たちは、2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその附属明細書並びに財産目録について検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会およびその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財政状態、正味財産増減の状況、並びに収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は事業の内容を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上